

神楽坂大學講座

第158回 神楽坂まちづくりすまいづくり塾
神楽坂よもやま話シリーズ 第125話

「神楽坂の歴史」シリーズ第三回 ～ 明治～戦前の神楽坂～

語り手：寺田弘さん（NPO法人 粹なまちづくり倶楽部 前理事長）
＋ 神楽坂アーカイブズチームメンバー

開催日：平成27年 12月 11日（金）
19:00～21:00

会場：高齢者福祉施設「神楽坂」1階 地域会議室
（新宿区矢来町104）

最寄り駅：東西線「神楽坂」（アユミギャラリー斜め前）

■ 官軍が江戸に迫ると旗本・御家人に従う武士たちは浮き足立った。そして明治維新——突然職を失った下級武士たちは食うに困り、ここ神楽坂では家財道具の投げ売りが始まった。新政府のとった措置も「武家屋敷をうち捨てておくのは不経済、桑か茶を植えよ」。

■ その頃はやった狂句。

- ・ お江戸みたけりや今見ておきやれ 今にお江戸は原になる
- ・ 上からは“明治”だなどというけれど “治明”（おさまるめい）と下から読む

■ 明治から焼け野原になった昭和20年の神楽坂まで、語り手に神楽坂アーカイブズチームのメンバーが加勢して、ザックリまとめてお伝えいたします。どうかご期待下さい。

■ 定員：約20名

■ 参加費：1000円

■ 主催：

NPO法人 粹なまちづくり倶楽部

■ 共催：神楽坂まちづくりの会

■ お問い合わせ

粹なまちづくり倶楽部 事務局

・ 電話 050-3558-6260

・ メール：

ikimachi.setsumei@gmail.com

・ HP：<http://ikimachi.net/>

※ 参加希望の方は、当日直接会場にお越しください。

